

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2008-501560(P2008-501560A)

【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-527279(P2007-527279)

【国際特許分類】

B 2 9 C 47/06 (2006.01)

B 2 9 C 47/14 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 47/06

B 2 9 C 47/14

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月7日(2008.5.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱可塑性ポリマーフィルムの形成方法であって：

(a) 2つ以上のポリマー溶融物流を、二層の実質的に同一平面上の流れとして合流させるステップと；

(b) ダイの中において、上部区画と下部区画とを有する合流させた前記溶融物流を押し出すステップと、

(c) 上部領域から下部領域まで揺動する非直線状の型出し切断開口部を有するダイプレートを介して合流させた前記同一平面上の流れを押し出し、それによって、前記上部区画中の前記ポリマーの少なくとも一部を前記上部領域まで不均一に分配し、さらに、前記下部区画中の前記ポリマーの少なくとも一部を前記下部領域まで不均一に分配することで、少なくとも上部および下部のポリマー層を形成するステップと、

(d) フィルムを形成するステップであって、前記ダイプレート中の前記ポリマーの流れの分配によって、前記上部ポリマー層または前記下部のポリマー層の少なくとも一方は、前記フィルムの幅にわたって厚さが変動し、それによって、上面から底面まで揺動する山および谷として延在する一連の稜線部を有する前記熱可塑性ポリマーフィルムが得られ、該山および谷が、前記フィルムの上面及び底面の両方において連続した稜線部を形成する第1の方向に延在するステップとを有する、方法。

【請求項2】

前記フィルムを実質的に通過する複数の切れ目線において、前記第1の方向に対してある角度で、第2の方向において少なくとも1つの面上で非平面状の前記フィルムに切れ目を入れて、複数の切れ目部分を形成するステップと、前記切れ目の入ったフィルムを前記第1の方向に配向することで、前記切れ目部分を分離させて、切れ目のない部分によって連結する1組の分離したストランドを形成するステップとをさらに有する、請求項1に記

載の方法。

【請求項3】

2つ以上のポリマー層を有する熱可塑性ポリマーフィルムであって、揺動する一連の山および谷を有し、該山および谷は、第1の方向に延在して連続する稜線部を前記フィルムの両面に形成し、少なくとも1つのポリマー層が前記山にて少なくとも第2のポリマー層に不均一に分配され、それによって2つ以上のポリマー層は、前記フィルムの幅にわたって厚さが変動する、フィルム。

【請求項4】

前記少なくとも1つのポリマー層は、最も厚い区画から最も薄い区画まで少なくとも50%厚さが変動する、請求項3に記載のフィルム。